

2021年度栃木岳連クライミング強化選手選考規定について



2021年度の「国体/U-15/U-12」の栃木強化選手選考について以下のように規定します。
強化選手指定希望者は以下の規定に従ってください。

1. 全カテゴリー共通基準

- (1) 栃木県在住または勤務地が栃木県であること。
※国体成年のふるさと選手サポート事業対象者は除く。
- (2) 選手選考のために開催する栃木県強化選手選考会 及び 指定する選考基準大会に出場すること。
 - ①栃木県強化選手選考会は、2021年度は4月18日（日）に壬生町総合運動場体育館にてボルダリングで実施予定。要項は3月中に栃木岳連 HP に掲載予定。
 - ②選考基準大会は、選考の枠ごとに指定する。
- (3) 強化選手はリード種目の練習を必須とする。
- (4) 強化選手は日本山岳・スポーツクライミング協会（JMSCA/日山協）の選手登録をすること。
※選手登録には A 登録と B 登録があり、主要な公式大会に出場するには A 登録が必要。
また、A 登録するには事前にアンチドーピング・倫理研修会の受講が必須。
※選手登録についてわからない方は下記までご相談ください。
北村メールアドレス：taube@eos.ocn.ne.jp

2. 選考カテゴリー

・強化指定 A

JMSCA 主催の各種主要大会への参加補助
各種講習会・練習会の実施

- (1) 特別強化選手
2020年度・2021年度の日本代表選手及びユース日本代表選手。
- (2) 国体強化選手
成年男子（高校卒業以上）……3名 成年女子（高校卒業以上）……3名
少年男子（中3～高3）……3名 少年女子（中3～高3）……3名
- (3) U-15 指定強化選手（中1～中3）……男子3名、女子3名
- (4) U-12 指定強化選手（小4～小6）……男子3名、女子3名
- (5) その他
上記の選考から漏れた選手で、2020年度（2020年6月～2021年5月）の JMSCA 主催

各種公式大会および準公式大会で優秀な成績をおさめた選手。

・強化指定 B

県内施設での講習会・練習会の実施

(1) TSCA ツアー2021 のランキングによる選考

栃木県スポーツライミング協会 (TSCA) のブログ及び facebook 上に掲載されている上記ツアー戦の要項を参照。

TSCA ブログ : <http://kyougi.blog.jp/>

TSCA facebook ページ : 栃木県スポーツライミング協会 (tsca) | Facebook

(2) その他 (決勝進出枠)

TSCA ツアー2021 及びボルダリング栃木カップ 2021 の結果から、強化指定 A/B の人数が少ない学年などについて適宜選考。

3. 強化指定 A 選考方法詳細

(1) 特別強化選手

2020 年度・2021 年度の日本代表選手及びユース日本代表選手。

※国際スポーツライミング連盟 (IFSC) 主催の国際大会を、栃木県特別強化選手の選考基準大会とする。

※栃木県山岳連盟が認める理由に限り、栃木県強化選手選考会の出場を免除する場合がある。

※特別強化選手が国体出場を希望する場合は、国体強化選手と重複する。

※有資格選手

檜崎智亜 檜崎明智 川又玲瑛 関口準太

(2) 国体強化選手

栃木県強化選手選考会 及び 指定する選考基準大会の出場者から、その成績によって選考する。

成年男子/女子 (高校卒業以上)

- ・ボルダリングジャパンカップ (ボルダリング)
- ・リードジャパンカップ (リード)
- ・ボルダリング栃木カップ 2021 (ボルダリング)

上記3大会の成績より選出。

※選考対象者が足りない場合は別途選考する場合がある。

少年男子/女子 (中3~高3)

- ・ボルダリング栃木カップ 2021 (ボルダリング)
- ・リードユース 2021 (リード)

上記2大会の栃木県内選手の順位付けにより選出。

2種目の総合順位はコンバインド方式で計算する。

※リードユースは、そこで得た順位ではなく、栃木県選手のみを抽出した順位。

※同順位の場合は、ボルダリングユース 2021 とリードユース 2021 及び 2021 年のジャパンカップ (未出場の場合は 2020 年のジャパンツアー) における内容を考慮して選考する。

(3) U-15 指定強化選手（中1～中3）

栃木県強化選手選考会の出場者から、その成績によって選考する。

・ボルダリング栃木カップ 2021（ボルダリング）

※ひとつの学年からは、男女それぞれ最大2名までとする。ただし、前年度の公式大会の成績によってはその限りではない（決勝進出など）。

(4) U-12 指定強化選手（小4～小6）

栃木県強化選手選考会の出場者から、その成績によって選考する。

・ボルダリング栃木カップ 2021（ボルダリング）

※ひとつの学年からは、男女それぞれ最大2名までとする。ただし、前年度の公式大会の成績によってはその限りではない（決勝進出など）。

(5) その他（決勝進出枠）

上記の選考から漏れた選手で、2020年度（2020年6月～2020年5月）のJMSCA主催各種公式大会および準公式大会で優秀な成績をおさめた選手。

※具体的には下記が対象。

①ジャパンカップ 2021 出場権保持者

②各種公式大会（全国大会）の決勝進出者

③関東小中大会の決勝進出者

※有資格選手

男子

斎藤正樹（①、②による）

竹村比呂（②による）

浅野敦志（①、③による）

加藤頼斗（②による）

三竿莉平（②による）

寺川陽（②による）

船木陽（③による）

戸田稜大（③による）

女子

葛生真白（①による）

黒尾咲月（③による）

※2021年4月のボルダリングユースと5月のリードユースの結果により有資格者が増える可能性あり。

4. 栃木県推薦選手

各県に出場人数の割り当てがある公式大会については、以下の基準で栃木県推薦選手を選考する。

(1) 関東小中大会栃木県推薦選手

小学生及び中学生の強化選手の中から選考。

ボルダリング種目となった場合、ボルダリング栃木カップ 2020 の順位から選考。

リード種目となった場合、秋にリード種目の選考会を実施し、その順位から選考。

(2) 高校生選手権栃木県推薦選手

秋にリード種目の選考会を実施し、その順位から選考。

(3) その他

出場人数の割り当てを伴う公式大会が新設された場合は、上記の基準に基づいて同様に選考する。

以上